

都市再生整備計画 事後評価シート
高崎市中心市街地地区

令和3年2月

群馬県高崎市

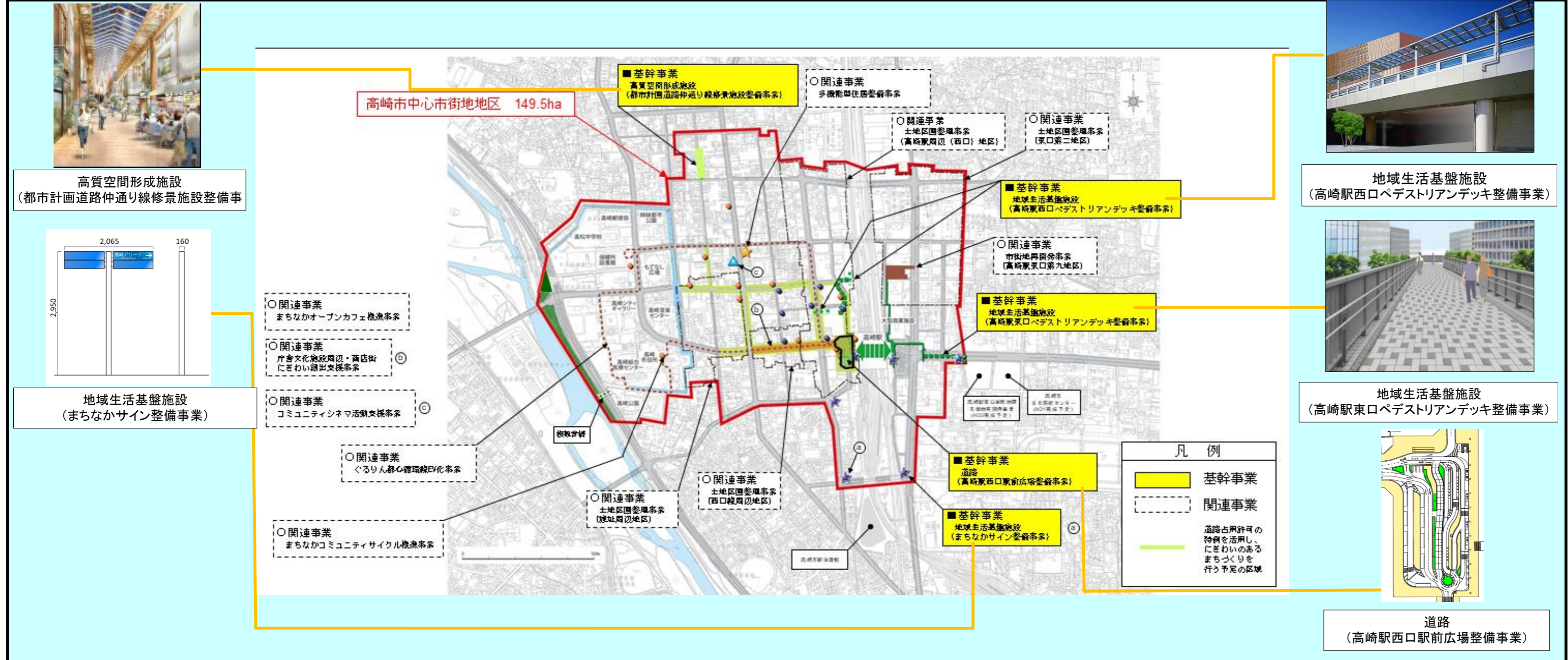
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	群馬県	市町村名	高崎市	地区名	高崎市中心市街地地区		面積	149.5ha			
交付期間	平成28年度～平成31年度	事後評価実施時期	令和2年度	交付対象事業費	3,520.6 百万円	国費率	0.45				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	・地域生活基盤施設(高崎駅西口ペDESTリアンデッキ整備事業、高崎駅東口ペDESTリアンデッキ整備事業、まちなかサイン整備事業)								
		提案事業	なし								
	当初計画から削除した事業	基幹事業	事業名		削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
		提案事業	なし								
	新たに追加した事業	基幹事業	・高質空間形成施設(飛龍の松周辺整備事業) ・高次都市施設((仮)高松エリア展望レストハウス(観光交流センター)整備事業)		飛龍の松周辺整備に当たっては既存水路の改修をする必要があり、費用もかさみ工事も大掛かりなものとなるため地元の理解が得られておらず、また観光交流センター事業については「烏川・高松地区かわまちづくり事業」の一環として施設整備を計画していたが、民間資金にて行う方針に転換したことや、本体事業についても計画遂行が停滞していることから、どちらも交付期間内での事業進捗が図れなくなったため。		・指標2について、まちなか回遊性に資する事業を削除することにより、0.1時間下方修正した。				
		提案事業	なし								
	交付期間の変更	当初	平成28年度～平成32年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響							
変更		平成28年度～平成31年度									
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
		単位	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値					
	指標1	駅周辺諸施設へのアクセス性と歩行環境に関する満足度向上	%	52.5 H27	56.6 R1	—	75.2	○	あり なし	高崎駅西口及び東口ペDESTリアンデッキの整備を中心とした、駅周辺の基盤整備により満足度が大幅に向上した。	—
	指標2	来街1回あたりの滞在時間延長	時間	2.3 H27	2.5 R1	—	2.37	△	あり なし ●	駅前にオープンした大型商業施設で用事が済むようになったことや、新型コロナウイルスの影響によりイベント等の開催が見送られたため滞在時間が伸びなかった。	R3/12
指標3	地区内居住人口	人	7,567 H27	7,718 R1	—	7,697	△	あり なし ●	駅周辺の基盤整備や集客施設等の整備により本地区におけるマンション建設が活発化し、地区外からの流入人口が増加した。	R3/12	
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		従前値	目標値	数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	その他の数値指標1	単位	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値					
4)定性的な効果発現状況	・高崎駅周辺の基盤整備が進み、ペDESTリアンデッキによりバリアフリー化された歩行ルートが歩行環境を大きく改善させた。また西口駅前広場の整備により渋滞が解消され、利便性の向上につながった。 ・オープンカフェやコミュニティサイクルにより官民が連携してまちの賑わい創出している。										
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況			今後の対応方針等				
	モニタリング	・事業担当部署間のミーティング		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			●		・事業期間中のモニタリングを明確に位置づけ、所定様式に則り開催する。		
	住民参加プロセス	・高崎まちなかオープンカフェ推進協議会の活動 ・まちづくり協議会の活動 ・高崎まちなかコミュニティサイクル推進協議会の活動		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			●		・本地区は、高崎市中心市街地商業活動のコアにあり、地域と協働した「おもてなし」の質的向上を図る方針である。		
持続的なまちづくり体制の構築	・高崎まちなかオープンカフェ推進協議会の活動充実 ・まちづくり協議会の活動充実 ・高崎まちなかコミュニティサイクル推進協議会の活動充実		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			●		・放置自転車とまちなかの自転車事故を撲滅するため、利用者のモラル向上を目的とした啓蒙活動を実施する。			

様式2-2 地区の概要

高崎市中心市街地地区(群馬県高崎市) 都市再生整備計画の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標: まちなか移動が快適で、芸術文化の魅力と住み心地の良さを感じるまちづくり 小目標① 高崎駅東西エリアの連絡性強化と公共・芸術文化施設へのアクセス向上を図る。 小目標② 新しいまちの魅力を創出し、まちなか交流人口(観光・買い物・散策)の増加を図る。 小目標③ 住みやすいまちづくりを進め、居住人口を増加させる。	駅周辺諸施設へのアクセス性と歩行環境に関する満足度向上	単位: %	52.5	H27	56.6	R1	75.2	R2
	来街1回あたりの滞在時間延長	単位: 時間	2.3	H27	2.5	R1	2.37	R2
	地区内居住人口	単位: 人	7,567	H27	7,718	R1	7,697	R2
		単位:						



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・市外及び県外からの転入者が増加しているが、子供が遊べる場所・市民が集まれる場所が不足している。 ・高崎駅周辺の基盤整備が進み大型商業施設も出店したことから駅周辺には賑わいが見られるが、周辺部との歩行者数の差が顕著になっており二極化が進んでいる。 ・市民の声アンケートにおいて「まちなかの活性化が図られている」と回答した割合は32.7%(そう思う7.0%、どちらかと言えばそう思う25.7%)にとどまるなど「まちなか」の求心力回復には至っていない。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・転入者(子育て世代)が増加したものの、子供が遊べる場所・市民が集まれる場所が不足しており、増加した需要を満たすための環境整備が必要である。 ・駅周辺の賑わいをまち全体へ波及させるよう、来街者の回遊性を向上させるソフト事業を引き続き推進する。 ・まちなかの求心力回復につながる「高崎の顔」となるような要素を確立させる。